

企業で取り組む環境経営
エコアクション
21 vol.21

エコアクション21を
経営ツールに活用！
地元を根を張り
2000年企業を目指す



お話を聞きしたのは
平和建設株式会社
代表取締役
おかだ よしひろ
岡田 吉弘さん



適性に沿った人材育成のため、新入社員それぞれに担当をつける「メンター制度」を採用。EA21の取組を習慣づける目的もあります。



エコ検定の合格者たちは、EA21の取組に知識を活用しています。4年以内に社員全員合格が目標。

「エコアクション21に取り組んだきっかけを教えてください。」

地元福山で行われていた車の浦の街並み保存活動に参加する中で、建設業も環境対策により力を入れるべきだと考えていたところ、中小企業が柔軟に取り組めるエコアクション21(以下EA21)を知り、取得を決めました。認証を受けて14年こまめな消灯、廃棄物の分別の徹底と担当者による厳密なチェックなど現場単位の取組を継続業務の中で習慣化し、社員に環境意識が定着した手応えを感じています。しかし徐々にマンネリ化しているのではないかとという懸念も。そこで代表取締役である私が環境管理責任者となり自ら環境活動に着手したところ、EA21が経営ツールとしても活用できることになりました。

「どのようにEA21を経営ツールとして活用したのですか？」

時代の荒波を乗り越えるためには、地域に根を張る建築会社に帰属するべき。事業拡大ではなく、車で1時間までのエリアの顧客を大切に、手の届く範囲で市場を耕す方向に転換を図っています。これはCO2の排出削減にもつながっています。

当社は地元で一般住宅、寺社医療機関、店舗、工場設備のメンテナンスなど、

幅広いニーズに応え信頼を得ています。環境対策をはじめ日々の活動をいい加減にすればそれは一瞬で失われます。EA21の環境への取組とPDCAを回し改善を重ねるシステムは細かな要望に誠実に応える人材の育成に活用できます。

「EA21を取り入れた人材育成とは？」

評価軸を利益だけに置かず、環境対策を中心に必要な知識を持ち、業務に反映し、誠実に取り組む社員を育てていくことが地域密着型の企業には必要です。そのため当社では、人事評価制度の刷新を進めています。こまめな消灯や節水をはじめとした、社内で決められているEA21の取組を確実に遂行できているかを評価軸にする予定です。

さらに「e.c.o検定(環境社会検定試験)」の受験を推奨。環境問題の変遷や最新の社会情勢、SDGsなど幅広い知識が得られるため、EA21に積極的に取り組む活発な意見を交わせるようになると確信しています。既に9人の若手社員が合格し、EA21の環境レポートや取組のブラッシュアップを図っています。また、コンプライアンスを重視する顧客や、企業活動の環境への影響を懸念する地元住民への対応にも知識を活かして、地域企業として経営にプラスになっており、合格者を評価していくことでポト

ムアップにつなげたいです。

また、EA21に関連する環境対策をはじめとした地域の細かなニーズに応えていくために、多様性のある人材育成、地域雇用を進めています。新入社員に行っていた均質的な教育を、各人の適性や個性を伸ばす方向に転換。例えば技術部門はこれまで男性が中心でしたが、適性と意欲があれば女性も配属しています。障がい者雇用にも応用し、適性に合う仕事をしてもらい、不調があれば安心して休めるようにしています。これはSDGsにもつながる取組です。現在はEA21の2009年版から2017年版へ移行する準備段階。地域で求められる2000年企業を目指し、EA21を経営ツールとして活用していきたいです。

平和建設株式会社

所在地 〒720-0822 広島県福山市川口町1-16-35

従業員数 46名 認証・登録日 2006年9月

公共事業や一般住宅、法人、店舗、病院などの建設、工場設備のメンテナンスなどを行っています。

エコアクション21

環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。



エコアクション21

エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel:086-298-2122 Fax:086-298-2496

Mail: ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp

Facebook: https://www.facebook.com/ecoaction21/